

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	未来保育 CLUB
所在地	東京都町田市中町 1-31-4NTT 町田ビル 1F
対象クラス	4・5 歳児

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・自然物

<テーマの設定理由>

近隣の公園へ散歩に出掛ける事や、園外保育等行事等で自然・自然物に触れる機会が多いため、どのようなことに興味を持つのかという事からこのテーマに決めた。

## 2. 活動スケジュール

令和7年4月~9月

- ・近隣行への散歩（木々の色の変化や季節の移り変わりなどを体験を通し自分で感じていく）  
（その場にいる虫や鳥などの生き物にも触れ、特徴などに今日に関心を持つ）
- ・野菜栽培（6月~9月）

## 3. 探究活動の実践

<活動の内容>・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・散歩リュック
- ・ビニール袋
- ・図鑑（戻ってきて調べるため）
- ・図鑑(小)（その場で調べる用）
- ・携帯電話（すぐに調べられるように）
- ・野菜の苗（種）
- ・野菜栽培用の土（昨年までの土、腐葉土、石灰、培養土）
- ・ブルーシート
- ・シャベル
- ・軍手
- ・ジョウロ

## ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり

子ども達から「せんせ〜、葉っぱが緑だね」や「気に葉っぱがいっぱいいつているね」などの声上がる。この時期にはないはずのドングリを見つけると「せんせー、どんぐりがなぜか落ちていたよ」と驚いたように大きな声で伝えていた。その声を聞いたほかの子どもが「秋からずっとここにいたのかな？」や「わかった！葉っぱの下にいたんじゃない？」等見解を伝え始めていた。保育者にも問いかけてくるのでなんでだろうね？と返すとさらに「誰かが落とした」「虫や鳥が食べようとしていた」等思い思いの事を発していた。違う公園では砂や石に興味を持ち掘ってみたりしていた。公園内の小川にザリガニを見つけ大発見のように目を輝かせていた。そして「ザリガニはなんで水の中にいるのだろうか？」「何を食べるのだろうか？」という事が気になったようで保育者に聞いたり図鑑で調べたりする。

野菜作りの際には、土といっても色々な土が混ざっていることでなぜ混ぜるのかに」疑問を持っていた。そのことを後で栄養士に聞いている姿を見かける。苗が育つ様子を見て葉の違い、実のなり方に気づきづかんで調べる姿を見られた。



## 4. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・このくらいの年齢になると、一つの事からかなり疑問に思う事が分かる。
- ・子どもたちの疑問をすぐに調べられるような環境が大事であると思った。
- ・職員が調べるのではなく、子どもたちに疑問に思ったこと・不思議に感じたことなどがわかるような手立てをもう少し考えていくことが必要ではないかと思う。
- ・晴れた空の下で、下の方だけでなく色々なところに目をやってしっかり周りを見る事ができていると思う。その上で自分たちが感じることをすべて言葉や体で表現しようとしていることが伝わってきた。
- ・子ども達は、私たちが何気なく見ている風景の中に発見するものがあり、それが一人一人大発見なのでワクワクが止まらないという様子で話し始めているように思う。そんな子どもたでの表情を見ていると私たち保育者も一緒にワクワクしてくる。
- ・この子ども達の気持ちを一緒に感じながら、さらにどうやって子ども達の探求心を伸ばしていくのか、どのような環境が求められているのかを考え環境設定して行けるといいと思う。